

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 平成28年8月15日(月)
開会 午後2時01分 閉会 午前3時30分
- 3 場所 第1委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 総務部長山田日出雄、危機管理課主幹秋田伸裕、議会事務局長尾関友康、
同統括主査寺澤顕
- 6 協議事項

(1) 防災訓練について

須藤議長：8月5日防災会議について報告

危機管理課主幹秋田：岩倉市地域防災計画の修正(案)について、資料に基づき説明。防災体制について、以前より意見をいただいていたが、議会班を防災組織図及び災害対策本部の組織図から別の命令系統として明確に分けた。計画の中の業務分担表からも議会班を削除した。

続いて、平成28年度岩倉市防災訓練実施概要について、資料に基づき説明。資料中、7の表で網掛け部分は市民参加である。27要配慮者搬送は初の実施となる。24保健医療対応訓練は、健康課保健師がエコノミークラス症候群についての講習を行う。本年度は、気象警報を伴わない雨天の場合は、体育館に全員は入ることができないため、防災会の役員のみの一部開催とする。資料9-2の防災講話は危機管理課職員が行う。当日は、体育館の入り口の平土間に椅子を並べるので、議会(支援本部)で使ってください。

今後の日程等 5/22 南小(実施済) 10/30 曾野小 11/20 五条川小 東小は未定

議会事務局寺澤：8/28の当日スケジュールについて、資料に基づき説明。

黒川会長：雨天の場合も参加する。服装は防災服、ヘルメットの着用はなしで。

木村議員：昨年度、メール受後では間に合わなかったが第1回会議8時50分は可能か。

黒川：議会事務局からのメール配信を8時20分とする。

鈴木議員：状況シートについて、非難するときに見て報告するものと思うが、参集するまでの20分でこれを作ることは可能なのか。

黒川：現地の災害対策本部設置が8時50分なので、支援本部設置を9時とする。

塚本議員：10分のタイムラグがあるのはおかしいのではないか。

黒川：予定通り8時50分支援本部設置とする。

梅村議員：雨天の判断はメール配信に基づくのか。

秋田：午前6時に議会事務局長へ連絡する。また、同報系で午前7時にアナウンスする。

記載のテレホンサービスで確認することもできる。

梅村：防災無線は北小学校区だけと記載されているが、中止の連絡も同様ということではないか。

秋田：北小学校区のみです。

大野議員：ほっと情報メールを利用してはどうか。

秋田：これまでは送信していない。公用車も周回する。

黒川：議会は、事務局長に入る連絡のみということか。もしくは各自テレホンサービスで調べるということになる。

大野：ほっと情報メールを使うのは良い案と思うが。

秋田：登録者全員に届いてしまうことから今までは利用していなかった。検討する。

木村：連絡方法についての手段については、有事では携帯が使えないことも想定して（議会でも）今後のために検討したほうがよい。

（２）行政視察への対応について

熊本県玉名市議会 総務委員会 10月5日（水）午後3時～

視察項目：議会基本条例を礎にした議会改革について

黒川：欠席は堀、塚本議員。都市問題会議がある。都市問題会議へ出席の予定の議員は9名ないしは10名。玉名市は被災自治体である。こちらから聞きたいことがあれば事務局までお願いする。

（３）検討課題について

黒川：次第には件名は書いていないが、最初に議会事務局の機能強化について協議したい。

論点が3つある。議長から申し入れた要望4項目についての執行機関との協議進捗、人事評価、調査機能強化。

須藤：市長からは年間2000時間の業務がなければ人員増は難しいとのこと。

梅村：市長との面談を受け、人員増について、事務量は増えたが1名増やすほどは増えていないことがわかったので、政策調査という新しい機能を付け加えた上での増員という方向の切り替えを行ったところである。

黒川：議会事務局長として現在の体制と増員についての考えはどうか。

尾関：忙しさは時期的なものもあるので、一人増やすともてあます時期が発生してしまうと思う。計算すると数100時間であった。

大野：6月議会の議事録もまだ正式なものが出来ていない。スピード力が落ちている。職員ではなくパートはどうか等も検討したほうがよい。

黒川：事務局、議事録の作成状況はどうか。

寺澤：委員長報告がある各委員会については1週間で納品してもらっている。本会議の部分は、反訳があがったものペーパーにすると100枚以上になるものを再度聞きなおして修正補記する作業がある。職員が一人付きっ切りで業者との調整や聞き取りにくい部分は執行機関と調整も行っている。翌定例会の告示日までに製本配布がルールと思うが、スケジュール的にぎりぎりで行っている。HPに掲載する、製本できる状態になるまでには、相当時間を要する。

木村：前回の議会での質問や答弁を参考にしたいこともあるが、間に合っていないようである。また、全員協議会などの議事録が作成できていない。議会事務局の役割は4つある。事務以外に、執行機関との間を取り持つこと、市民と議会の間を取り持つこと、そして議会改革を推進する役割。果てしない業務があるものである。2000時間、という狭い考えだけではよくないのではないか。

黒川：増員を要請する以上、担保となるものは示さなくてはならない。そのために、木村議員の配布された資料にあるように、議会事務局の役割そのものを見直さなくてはならない。これについて自由討議とする。

宮川：人事にかかわらず、交渉事では最初は盛って多めに出して、折衝のなかで折り合っていく。議事録作成について、1時間分のものは3時間かかるのが一般的数字だと思う。

今求められている事務に対して具体的に何時間要するというのを積算して示さなくてはならない。

堀議員：議会事務局長の言う「他の要因」とは。

尾関：私としては特にはないが、議会としてこういうことをやっていくという方向性を示すものと思う。

大野：先進地では議会事務局は議会改革をリードする。反訳は事務ではあるが、議会事務局としての仕事ではない。誰か人を入れるしかない。行政課出身者にせっかく来てもらっているのに活かしていない。議会事務局として反訳にかかっている時間は全体の何割なのか。

寺澤：他課に比べると確かに音訳作業が多いとは感じる。担当主事は毎日のように音声チェックをしている状況。業者に反訳してもらっているが、それをチェックする作業。

木村：次の定例会前にしか会議録が上がってこないのは、問題。

堀：時給の高い職員でやるにはたしかにもったいない作業。しかしパート職員ではできない。

黒川：それにかかる時間が数100時間で、市長側は増員なら2000時間必要と。その溝は埋まらない。もっと先進地を研究して。スピード感をもって結論を速く出すには事務局も入れた専門チームを作成して調査して結論を出したらいいと思うが、議会運営委員会はどうか。

櫻井議員：確認はまっさらな状態からやるのか。

寺澤：いいえ、紙で上がってきたものを確認する。

櫻井：一般質問なら原稿がある。そういう下地は活用されているか。皆さん事務局に渡してはどうか。

寺澤：本会議については、業者から紙でもらうので、あまり意味がないかと思う。

黒川：事務局強化は、先進地視察を通してまた、学識者を呼び研究していく。

(4) その他

ふれあいトークについて

木村：明日8月16日の役割分担について。分散会から始まるので挨拶する場は。

黒川：その後の全体会で、議長が行う。明日の役割は別紙のとおり。確認されたい。明日はスターキャットの取材がはいる。

次回：9月議会中、委員会予備日の中で開催

(午後3時30分閉会)